

HOLD + 1 + 1	= ON → スキャンスピード低速	OFF → スピード高速	7
HOLD + 1 + 2	= ON → 全モードメモリースキャン	OFF → 単一モードメモリースキャン	7
HOLD + 1 + 3	= ON → メモリースキャン	OFF → 順番CHスキャン	7
HOLD + 1 + 4	= ON → 空きCHスキャン	OFF → 使用CHスキャン	7
HOLD + 2 + 1	= ON → 全モード待ち受け	OFF → 単一モード待ち受け	7
HOLD + 2 + 2	= ON → 自動モニターON	OFF → 自動モニターOFF	8
HOLD + 2 + 3	= ON → 留守番機能ON	OFF → 留守番機能OFF	8
HOLD + 2 + 4	= ON → 留守番メモリー プロテクトON	OFF → 留守番メモリー プロテクトOFF	8
HOLD + 3 + 1	= ON → PTTリコールありのとき 1分以上PTTを握り、 離れたときリコール	OFF → PTTリコールなし	8
HOLD + 3 + 2	= ON → PTTリコールありのとき PTTを握り、離れたとき 常にリコール	OFF → PTTリコールありのとき 1分以上PTTを握り、 離れたときリコール	8
HOLD + 3 + 3	= ON → 多群番リコール	OFF → 普通のリコール	8
HOLD + 3 + 4	= ON → タイマーリコール	OFF → 普通のリコール	8
HOLD + 4 + 1	= ON → 受信感度低減	OFF → 受信感度通常	8
HOLD + 4 + 2	= ON → 送信出力低減	OFF → 送信出力通常	9
HOLD + 4 + 3	= ON → ローカルモード	OFF → 通常モード	9
HOLD + 4 + 4	= ON → 1分通話モード	OFF → 通常モード	9
HOLD + 5	= ON → ATIS信号カット	OFF → ATIS信号出る	5
HOLD + 6	= ON → 群番解読	OFF → 群番解読なし	5
HOLD + 7	= ON → 群番号自動作成あり	OFF → 群番号自動作成なし	5
HOLD + 8	= ON → CH優先表示あり	OFF → CH優先表示なし	5
HOLD + 9	= ON → 免許番号待ち受け	OFF → 群番号待ち受け	6
HOLD + 0	= 動作音の大、小、消音のセット		6
HOLD + M	= ON → タイマーカット	OFF → タイマー動作	6

HOLD + MON	= ON → 80CHモード OFF → 158CHモード	3
HOLD + CALL	= 切断信号送信	3
HOLD + HOLD + 0 から 9	= 群番号コピー	2
HOLD + HOLD + MON	= 自局の免許番号表示	4
HOLD + HOLD + CALL	= 相手の免許番号表示	4
HOLD + HOLD + HOLD	= 免許番号コピー	4
HOLD + HOLD + REMOTE	= 免許番号の作成	4
HOLD + SHIFT + 5	= PA (拡声器)	5
HOLD + SHIFT + 7	= ストップウォッチ	5
HOLD + SHIFT + 8	= 減算タイマー	5
HOLD + C + 1	= HOLD+1のセット全てOFF	9
HOLD + C + 2	= HOLD+2のセット全てOFF	9
HOLD + C + 3	= HOLD+3のセット全てOFF	9
HOLD + C + 4	= HOLD+4のセット全てOFF	9
HOLD + C + C	= HOLDのセット全てOFF	9
HOLD + REMOTE	= 死んだふり	1
HOLD + MIC END	= HOLDから抜ける	

◎ M キーの機能一覧表

M + 0 から 9	= 群番号メモリーの呼び出し
M + 0 から 9 + C + 群番号5桁	= 群番号メモリーの書き出し
M + C + 群番号5桁	= 表示群番号のセット
M + HOLD + 0 から 7	= CHメモリーの書き込み
M + MON + 0 から 7	= CHメモリーの呼び出し

$\boxed{M} + \boxed{CALL} + \boxed{1}$ から $\boxed{9}$	= 群番号メモリー1から9の待ち受け設定、解除	2
$\boxed{M} + \boxed{CALL} + \boxed{SHIFT} + \boxed{4}$	= A-codの待ち受け設定、解除	2
$\boxed{M} + \boxed{CALL} + \boxed{SHIFT} + \boxed{5}$	= b-codの待ち受け設定、解除	2
$\boxed{M} + \boxed{CALL} + \boxed{SHIFT} + \boxed{6}$	= L-codの待ち受け設定、解除	2
$\boxed{M} + \boxed{CALL} + \boxed{SHIFT} + \boxed{7}$	= H-codの待ち受け設定、解除	2
$\boxed{M} + \boxed{CALL} + \boxed{SHIFT} + \boxed{8}$	= P-codの待ち受け設定、解除	2
$\boxed{M} + \boxed{CALL} + \boxed{SHIFT} + \boxed{9}$	= E-codの待ち受け設定、解除	2

◎ MON キーのCH指定方法

\boxed{MON} = リセットの場合は、前回使用のCHで、固定モニターへ。

固定モニター中は、モニタースキャンへ。モニター群一致中は、固定モニターへ。

$\boxed{C} + \boxed{0}$ から $\boxed{7} + \boxed{MON}$ = CHメモリー呼び出しで、固定モニターへ P. 3, 13項

$\boxed{C} + \boxed{0}$ から $\boxed{9}$ のキー2回+ \boxed{MON} = キー入力のCHへモニター P. 3, 12項

$\boxed{C} + \boxed{1} + \boxed{0}$ から $\boxed{9}$ のキー2回+ \boxed{MON} = キー入力のCHへモニター P. 3, 12項

◎ CALL キーの機能

\boxed{CALL} = リセットの場合は、群番号メモリー及び、特定群番号の自動呼び出し（9項参照）。

モニター中は、CH及び、モード表示が、群番号表示に切り替わります。
通話中は、以下の通りです。

○ CHの優先表示解除のとき（ $\boxed{HOLD} + \boxed{8}$ 解除）
群番号表示が、CH、及び、モード、表示の切り替わる。

○ CHの優先表示設定のとき（ $\boxed{HOLD} + \boxed{8}$ 設定）
CH、及び、モード、表示が、群番号表示に切り替わる。

◎ C キーの特殊な使い方

M + **C** + **群番号5桁** = 入力した群番号を一時的に使用
 (群番号メモリーを壊したくないときに使用する)

C + **群番号5桁** = 最後に使用した群番号メモリーに群番号を書き込む

○ 数字キーについて

数字キーは、ノーマルの場合、待ち受けの設定、解除をダイレクトに入力するために使用されましたが、本機では、完全16面待ち受けのため、キーが足りずに別方法となっています。

1 から **6** のキーには、CH及びモードを動かす機能があります。

7 から **0** のキーには、リザーブに関する機能があります。

キーパネルの各機能		
現在のCHより -1CHダウン 1	現在のモードより +1モードアップ 2	現在のCHより +1CHアップ 3
現在のCHより ハーフCHダウン 4 (158CHモード時)	現在のモードより -1モードダウン 5	現在のCHより ハーフCHアップ 6 (158CHモード時)
リザーブを ひとつ戻す 7	リザーブを 呼び出す 8	リザーブを ひとつ送る 9
リザーブに 記憶させる 0	C	M

本書は、アンパンマン99.99 スーパーターボを初めて使用される方のために書かれています。

この無線機の暗証番号は、 **07590** です。

○ 最初に

本機にはノーマル機能はありません。ただし、他人に使用されないようにするため、死んだふり機能があります。死んだふり機能の状態では、メモリー操作のキー以外は、受け付けなくなります。PTT、モニターがききませんので、無線機としては使用できなくなります。同時に、安心ロックがかかります。安心ロックとは、暗証番号を知っている人だけがスペシャルを使用できるようにする機能です。暗証番号がわかりませんと、スペシャル状態にできませんので忘れないようにしてください。

○ 最初にスペシャルモードにします。

MONキーを押して、ピッという音と同時に、CHが表示されれば、スペシャル状態にすでになっています。スペシャル状態でない場合は、以下の操作により、スペシャルにしてください。

M + **C** + (暗証番号) + **HOLD** => **turbo** の表示となる

その後、一度電源をOFF, ONしないとパワーがでません。この時、ATIS ROMカートリッジが挿入されていれば、自局の免許番号はその免許番号になります。

○ 安心ロックをセットします。

スペシャル状態を他人に知られたくない場合、セットしますと、無線機としての機能を停止します。暗証番号がわからないとスペシャル状態に戻せなくなります。

HOLD + **REMOTE** => **群番号表示**

モニター、レディ中でも、リセット状態になります。

○ 最初から、使用できるスペシャル機能。

- 1, モニターに移る際、CH表示をします。例、 **1 35** ダウンモードの 35CH
- 2, モニターから、PTTを押すことにより、割り込み送信ができます。
- 3, 5分、1分の通話制限はありません。ただし、相手の局が通話制限状態になったとき、相手局だけリセットしてしまわないように、表示パネルの、1-MIN, LOCALのランプに注意してください。
- 4, リセット、モニター、レディ、送信中のどの状態からでも、メモリー、群番号の打ち代えができます。
- 5, 0から9の数字以外に、AからFの英字の書き込みができます。
Cキーに続いてマイクのSHIFTボタンを押すことにより、1から6の数字ボタンがAからF, 1から6に切り替わります。

例、 **M** + **1** + **C** + **1** + **2** + **SHIFT** + **1** + **2** + **SHIFT** + **3**
=> **1 12R63**

- 6, リセット状態の時、マイクのSHIFTキーにより、すべてのメモリー、及び、特殊群コードの呼び出しができます。
- 7, 呼び出し、着信の時、群番号とCH確認を交互に表示します。
- 8, モニター、レディ、送信中に、CHの確認ができます。“CALL”キーを押すと、表示されます。
- 9, リセット状態の時、“CALL”に続いてキーを押すことにより、すべてのメモリー、及び、特殊群コードの自動呼び出しができます。

CALL => C + 0 から 9 => そのメモリーされている群番号で呼び出し

CALL => C + SHIFT + 4 => cR-cod Aコード (F0006)

CALL => C + SHIFT + 5 => cb-cod bコード (F0009)

CALL => C + SHIFT + 6 => cL-cod 近接車通信用 (F0005)

CALL => C + SHIFT + 7 => cH-cod 高速道路情報用 (F0003)

CALL => C + SHIFT + 8 => cP-cod 交通情報用 (F0000)

CALL => C + SHIFT + 9 => cE-cod 緊急連絡通信用 (FF000)

CALL => C + C => c00000 不特定局の呼出し (00000)

10. すべてのメモリー、特殊群番号の、待ち受けセット、解除が、独立して行なえます。

Mキーに続いて、CALLキーを押しますと、待ち受けのセット、解除のモードに、なります。

M + CALL + 1 から 3 1から3のランプが、点燈、消燈します。

M + CALL + 4 から 9 => s45678 AからEのランプが、点燈、消燈します。

この状態から1から9までの数字キーを押すと、待ち受け設定の数字ランプが点燈、消燈を交互に繰り返します。

また、特殊群番号の待ち受けの場合は下記の要領で設定します。

M + CALL + SHIFT + 4 => R Aの部分が、点燈、消燈します。

M + CALL + SHIFT + 5 => b bの部分が、点燈、消燈します。

M + CALL + SHIFT + 6 => L Lの部分が、点燈、消燈します。

M + CALL + SHIFT + 7 => H Hの部分が、点燈、消燈します。

M + CALL + SHIFT + 8 => P Pの部分が、点燈、消燈します。

M + CALL + SHIFT + 9 => ε Eの部分が、点燈、消燈します。

いずれの場合も点燈した状態で待ち受けセットとなります。

また、自分で最後に表示した群番号は、上記の操作に関係なく常に待ち受け状態となります。
メモリー0からメモリー9まで免許番号と特殊群番号6種類で、あわせて16局待ち受けです。
待ち受けランプについては、後述の表示ランプについて、の項で参照してください。

M + CALL 4 ~ 9 と、特定群番号が同時に待受設定されたときは、

その設定されたメモリーの点滅が早くなります。

11. 群番号解読の時、表示された群番号を、自分のメモリーにコピーすることができます。

コピーしたい群番号が表示されたら、以下の操作を行ないます。

HOLD + HOLD => cOPY + 0 から 9 (0の場合) => cOPY0

この例では、メモリー0に、コピーしていますが、以前に記憶されていたメモリーは、消されます。消してもいいメモリーナンバーを選んで押してください。雑用メモリーをあらかじめ決めておくとよいでしょう。

12、CHの指定が、キー入力により行なえます。

例 7CHにセットする。 $\boxed{C} + \boxed{0} + \boxed{7} + \boxed{MON} \Rightarrow \boxed{0} \boxed{07}$

例 50CHにセットする。 $\boxed{C} + \boxed{5} + \boxed{0} + \boxed{MON} \Rightarrow \boxed{0} \boxed{50}$

例 123CHにセットする。 $\boxed{C} + \boxed{1} + \boxed{2} + \boxed{3} + \boxed{MON} \Rightarrow \boxed{0} \boxed{123}$

CHが1桁の場合、キー入力は2桁で行ないます。

13、チャンネルの、メモリー、呼び出しができます。

99、99 スーパーターボは、8個のチャンネルメモリーを持っています。

○メモリーする。

まず、記憶させたいCHに、セットします。

例 100CHにセットする。 $\boxed{C} + \boxed{1} + \boxed{0} + \boxed{0} + \boxed{MON} \Rightarrow \boxed{0} \boxed{100}$

100CHでモニター状態となります。その後、例としてCHメモリー1に記憶します。

$\boxed{M} + \boxed{HOLD} \Rightarrow \boxed{chSEt} + \boxed{1} \Rightarrow \boxed{chSEt1}$ 100CHがCHメモリー1に
にセットされました。

また、通話状態(レディ)のとき、そのCHをメモリーしておきたい場合には、上記操作のほかに、以下に示す方法でも行なえます。(50CHで通話していたとします。)

$\boxed{MON} \Rightarrow \boxed{chSEt} + \boxed{2} \Rightarrow \boxed{chSEt2}$ 通話していた50CHがCHメモリー2に
セットされました。

○メモリーしているCHに移る。(メモリーを呼び出す。)

先程、CHメモリー1に入れた、100CHを呼び出してみます。

$\boxed{M} + \boxed{MON} \Rightarrow \boxed{SEt---} + \boxed{1} \Rightarrow \boxed{0} \boxed{100}$ 100CHでモニター状態となる。

また、CH設定と似た方法でも行なえます。CHメモリー2を呼び出してみます。

$\boxed{C} + \boxed{2} + \boxed{MON} \Rightarrow \boxed{0} \boxed{50}$ 50CHでモニター状態となる。

ここで注意する点は、CH指定のときは、2、または3桁入力でしたが、1桁入力の場合は、CHメモリーの指定と解釈します。

メモリーセット、呼び出しとも、0から7までの8CHのCHメモリーが使用できます。

リセット、モニター、レディ、送信中のいずれの場合からでもCHの移動が瞬時に行なえます。

また、設定した時のモードも同時に、記憶しています。CHメモリー呼び出し時にも、そのモードに自動的に移ります。

14、80CHモード、158CHモードの切り換え

呼び出しや、モニターの際のスキャンの幅などを、80CHモードにするか、158CHモードにするかを決めます。

$\boxed{HOLD} + \boxed{MON} \Rightarrow \boxed{80ch}$ $\boxed{HOLD} + \boxed{MON} \Rightarrow \boxed{158ch}$

15、切断信号

セットしている群番号で、切断信号を送信します。ここでいう切断信号とは、自局に暗証コードのない場合のことです。暗証コードが判らないため、(00)から(F F)までのコードの信号を送信します。送信終了まで、約、1分かかります。

なお、スペシャル機には切断信号を受付けない物があります。この場合は、この機能を使ってもリセットさせられません。

HOLD + **CALL** => **d i S c** TX のランプが点燈し、Sメーターが振れっぱなしになる。

また、通常の切断信号（通話状態から、自局と同じ暗証コードを持つ局だけをリセットさせる）を送出する場合には、本体側の、ENDキーを、1秒間以上押します。
 この場合は、自局の持っている暗証コードのみで送出します。

16, 自局の免許番号の表示 現在使用している自局の免許番号を表示させます。

HOLD + **HOLD** => **c o P Y** + **MON** => **-0110**
 ↓ **-0119**
 ↓ **_0101**

右記のように、3回にわけて表示されます。
 どうやら、私の機械には、ATIS ROMが入っていないようです。

17, 相手局の免許番号の表示

受信した、ATIS信号の中の、免許番号を表示させます。

HOLD + **HOLD** => **c o P Y** + **CALL** => **-16Cd**
 ↓ **-2214**
 ↓ **_34A3**

自局の場合と同様、3回にわけて表示されます。
 この人は、ちゃんとATISの中に免許番号があるようです。でも少しおかしいかな??

18, 相手局の免許番号を吸い取る

受信した、ATIS信号の中の、免許番号を、自局のものにしてしまいます。

HOLD + **HOLD** => **c o P Y** + **HOLD** => **-16Cd**
 ↓ **-2214**
 ↓ **_34A3**

吸い取った免許番号を、表示します。
 先程のちょっとおかしい免許番号を、いただきました。

19, 免許番号を作る!!

自局の免許番号をつくりだしてしまいます。

HOLD + **HOLD** => **c o P Y** + **マイREMOTE** => **-** + **1** + **2** + **3** + **4** =
 => **-1234**
- + **5** + **6** + **7** + **8** =
 => **-5678**
- + **9** + **SHIFT** + **1** + **2** + **3** =
 => **_9AbC**

これで、免許番号は、123456789ABC となりました。
 キー入力の際のアルファベット入力は、群番号の場合と同じです。
 お互いに、99.99 スーパーターボ同士ですと、電話番号なども1回のATIS信号で送れます。
 各自、活用方法などを考えてみてください。

20, 拡声器 (PA)

外部に拡声器用スピーカーをつけた場合、拡声器機能が行なえます。

使用方法は、ノーマル機と同じです。

HOLD + **SHIFT** => **P-OFF** + **5** => **PR-**

PTTを押してマイクに向かって話して下さい。無線機の機能に戻るには、マイク、または本体の“END”キーを押します。

21, ストップウォッチ機能

このストップウォッチはラップ計付きで1/10秒まで計測可能です。
ノーマルにある機能と同一です。

HOLD + **SHIFT** => **P-OFF** + **7** => **○○○○○**

マイクの“PTT”でスタート、ストップ、“REMOTE”でラップ、クリアです。
無線機の機能に戻るには、マイク、または本体の“END”キーを押します。

22, 減算タイマー

設定時間よりカウントダウンし、時間になると音で知らせます。
目覚まし時計や交信の約束時間にセットしたりします。
ノーマルにある機能と同一です。

HOLD + **SHIFT** => **P-OFF** + **8** => **-** 又は、前回設定時の表示

なお、くれぐれも悪用しないでください！！

○ HOLD の操作方法 その1 HOLD+5~9 及び その他

HOLD を押しますと、**F 56789** のセット、解除、及び確認ができます。

↑この時、表示の左端の桁は、Fの表示となっています。
この点について注目しておいてください。

23, ATIS信号カット

PTTを握った時、離れた時、1分に1回送信されるATIS信号を止めてしまう機能です。

HOLD + **5** => **F 5** セット **HOLD** + **5** => **F** 解除

セットされていても、リコールの時は送信されますので、呼び出しはできます。

24, 群番号の解読

受信したATIS信号の中の群番号を表示させます。

HOLD + **6** => **F 6** セット **HOLD** + **6** => **F** 解除

25, 群番号の自動作成

PTTを握ったとき、現在のモード及びCHを群番号とします。

HOLD + **7** => **F 7** セット **HOLD** + **7** => **F** 解除

例、0モード 2CHのときは、**00002** の表示
モード CH

26, CHの優先表示

通話中に、群番号表示でなく、CH及びモード表示になります。

HOLD + **8** => **F 8** セット **HOLD** + **8** => **F** 解除

例、0モード 2CHのときは、

0	02
---	----

 となります。

モード CH

HOLD

 +

7

 と同時に設定したときは、

HOLD

 +

8

 が、優先されます。

27. 免許番号の待ち受け

リセット中、自局の免許番号と同じ局だけ呼び出しを受付けます。
ディスプレイに C・MEMO の表示がでます。

HOLD

 +

9

 =>

F	3
---	---

 セット

HOLD

 +

9

 =>

F

 解除

群番号に関係なく、ATIS信号の中の免許番号だけに応えます。

なお、免許番号で待ち受けしているときは、群番号の待ち受けは無効になります。

28. 動作音の変更

キーの受付動作音の大きさを変えます。HOLDに続いて、0のキーを数回押すことにより、大、小、消しの状態が交互に現れます。

HOLD

 +

0

 =>

F	H
---	---

 .

F	L
---	---

 .

F	0
---	---

動作音大 動作音小 動作音消

29. タイマーカット

この機能は、単にタイマーを止めるだけではなく、使用状況に応じて機能がさまざまに変化します。

HOLD

 +

M

 =>

t-cu

 セット

HOLD

 +

M

 =>

t-on

 解除

タイマーセットのとき、ディスプレイに、T・LIM の表示がでます。

A. 呼び出し、及び、着信の時

タイマーカットがセットされている場合は、補足（呼び出しや着信で表示が点滅している時）の後、自動的にレディモードになります。

タイマー動作セットの場合には、30秒間補足状態のあとリセットします。

またはこの間に、HOLD、REMOTE、PTTなどで、レディモードに固定することもできます。

B. 固定モニターの時（固定モニターとは、CH指定や、リセットより、1回目のモニターキーでなる状態）

タイマーカットがセットされている場合には、リセットしない限り、そのCHにいます。

タイマー動作セットの場合には、なにも受信しなくなってから、30分間たつと、自動的にリセットします。

C. モニタースキンの時

タイマーカットがセットされている場合には、入感のあったCHで、固定モニターに移ります。

タイマー動作の場合には、入感のあったCHを、30秒間傍受し、続けて次のCHにスキンを続行します。ただし、スペシャルサーチとは違い、ATIS信号を受信しても、すぐにCHが変わることはありません。

（スペシャルサーチがONになっていれば、ATIS信号の判断を行いません。）

この場合も、HOLD、REMOTE、PTTにより、CHを固定することができます。

D. モニターから、群番一致の場合には、5分間の補足状態があります。

タイマーカットがセットされている場合には、補足状態のあと、レディモードに移ります。

タイマー動作の状態で、なおかつ、スペシャルサーチがONの時には、5分間の補足状態のあと、スキン状態に戻ります。

タイマー動作の状態の時は、5分間の補足状態から、固定モニターに移ります。

なお、固定モニターでは、無信号状態のとき、30分間でリセットしますので、なにかの間違いにより、呼び出された時でも、トータル35分間でリセットに戻るようになります。

E. リセットから、PTTや、CALL + なにかのキー で通話CHに移る時

タイマーカットがセットされている場合には、特に変化はありません。

タイマー動作の状態では、1回目の発呼信号は、送信しません。しかし、2回目にPTTを押す時に、だけ、PTTによる自動リコールを行いません。

この機能により、たまたま開いたCHが使用中であっても、そのままりセットすれば、不要な呼び出しを減らすことができます。

○ HOLD の操作方法 その2 HOLD+1~4 について

HOLD に続いて、1~4のキーを押しますと、今まで F と表示されていた部分が、数字に変わります。

本機は、機能が増えたため、HOLD 1~4は、二段設定になっています。
HOLD 1~4まで、それぞれに、1~4のセットを設定しています。

HOLD + **1** => **1**

HOLD + **2** => **2**

HOLD + **3** => **3**

HOLD + **4** => **4**

HOLDを押しただけでは、F の表示だった左の桁に、1~4の数字が表示されます。
この時、二回目のキーを受け付けます。また、RESETキーで中止できます。

30, スキャンスピードの切り替え

モニターサーチのスピードを変えます。セットで低速スキャン、解除で高速スキャン。

HOLD + **1** + **1** => **1 1**

31, 連続モード、メモリスキャンの切り替え

メモリーCHサーチの時、1回転してCHの最初になると、モードを一つ進めます。
次のメモリスキャンと組み合わせて、初めて作動します。

HOLD + **1** + **2** => **1 2**

32, メモリスキャン

CHの順番のスキャンではなく、CHメモリーのスキャンを行ないます。
99.99スーパーターボには8個のCHメモリーがありますが、CHメモリーについては、
13項を参照ください。
連続モードがセットされている場合、各モードごとの各CHをサーチしてゆきます。
解除の場合は、各CHメモリーが記憶しているモードに順次切り変わります。

HOLD + **1** + **3** => **1 3**

33, 空きCHサーチ

スキャンを空いているCHで止めるようにします。
あくまで、機械の空きCHレベルにより判断しますので、遠くで使用している場合、また、
ブレイクタイムの時などで、使用中のCHで止まることもあります。

HOLD + **1** + **4** => **1 4**

34, 全モード待ち受け

すべてのモードの制御CHを、リセット中に高速にスキャンしながら待ち受けします。
一度に10個のCHを聞いている訳ではないので、着信率は悪化します。
全モード待ち受けをしている局を呼び出す時には、連続リコールを使用してください。
設定されている時、SメーターのSIGNAL の表示が点滅します。

HOLD + **2** + **1** => **2 1**

35, 自動モニター機能

待ち受け状態のとき、3分毎に、全CHメモリーのモニタースキャンを行なう機能です。
1CHにつき、30秒づつモニターします。
8つのメモリーをセットすると、4分間はモニター状態になります。

$$\boxed{\text{HOLD}} + \boxed{2} + \boxed{2} \Rightarrow \boxed{\text{e } 2}$$

36, 留守番機能

留守中、呼び出しを受けた群番号、CH、モードを記憶する機能です。記憶するメモリーは、4局までです。それ以上は、記憶されません。

$$\boxed{\text{HOLD}} + \boxed{2} + \boxed{3} \Rightarrow \boxed{\text{e } 3}$$

37, 留守番メモリープロテクト

壊したくない留守番メモリーにプロテクトをセット、解除する。

$$\boxed{\text{HOLD}} + \boxed{2} + \boxed{4} \Rightarrow \boxed{\text{P}} + \boxed{0} \Rightarrow \boxed{\text{P } 0} \text{ セット}$$

$$+ \boxed{0} \Rightarrow \boxed{\text{P}} \text{ 解除}$$

$$\boxed{\text{P}} + \boxed{1} \Rightarrow \boxed{\text{P } 1} \text{ セット}$$

$$+ \boxed{1} \Rightarrow \boxed{\text{P}} \text{ 解除}$$

$$\boxed{\text{P}} + \boxed{2} \Rightarrow \boxed{\text{P } 2} \text{ セット}$$

$$+ \boxed{2} \Rightarrow \boxed{\text{P}} \text{ 解除}$$

$$\boxed{\text{P}} + \boxed{3} \Rightarrow \boxed{\text{P } 3} \text{ セット}$$

$$+ \boxed{3} \Rightarrow \boxed{\text{P}} \text{ 解除}$$

38, PTTによる自動リコール

PTTを離した時に、自動的にリコールを送信する機能です。

次に示す、リコールタイマー制限と関係がありますので、以下の項目と組み合わせて使用してください。

$$\boxed{\text{HOLD}} + \boxed{3} + \boxed{1} \Rightarrow \boxed{\text{e } 1}$$

このセットだけの場合ですと、PTTを握って、1分以上たたない場合には、リコールをしません。以下の設定をしますと、このタイマーに関係なく、つねにPTTを離した時にリコールをします。

$$\boxed{\text{HOLD}} + \boxed{3} + \boxed{2} \Rightarrow \boxed{\text{e } 2}$$

39, 多群番一括リコール

待ち受け指定をしている群番号を、すべてリコールする機能です。待ち受け設定は、10項に記してありますので、そちらを参照ください。呼び出すCHは、リコールを打ったCHになります。

$$\boxed{\text{HOLD}} + \boxed{3} + \boxed{3} \Rightarrow \boxed{\text{e } 3}$$

40, タイマーリコール

通話中(レディ)、自動的に、3分間ごとにリコールを打つ機能です。

$$\boxed{\text{HOLD}} + \boxed{3} + \boxed{4} \Rightarrow \boxed{\text{e } 4}$$

41, 受信感度低減

無線機の受信感度を低下させる機能です。遠距離からの混信がある場合などに有効です。

$$\boxed{\text{HOLD}} + \boxed{4} + \boxed{1} \Rightarrow \boxed{\text{e } 1} \Rightarrow \text{RXL のランプが点燈}$$

42, 送信出力低減

無線機の送信パワーを下げる機能です。遠距離へ妨害を与えている場合などに有効です。

$\boxed{\text{HOLD}} + \boxed{4} + \boxed{2} \Rightarrow \boxed{4\ 2} \Rightarrow 0.2\text{W}$ のランプが点燈

43, ローカルモード

通話する相手をローカルモードで呼び出します。呼び出された相手は、自動的に受信感度、送信出力低減状態になって呼び出されます。

$\boxed{\text{HOLD}} + \boxed{4} + \boxed{3} \Rightarrow \boxed{4\ 3} \Rightarrow \text{LOCAL}$ のランプが点燈

44, 1分通話モード

通話する相手を、1分通話モードで呼び出します。ただし、自局は、1分たってもリセットしません。

$\boxed{\text{HOLD}} + \boxed{4} + \boxed{4} \Rightarrow \boxed{4\ 4} \Rightarrow 1\text{-MIN}$ のランプが点燈

45, 機能設定の一括解除

A, $\boxed{\text{HOLD}} + \boxed{1} \Rightarrow \boxed{1\ 1234}$ の機能の設定を、すべて、解除する。

$\boxed{\text{HOLD}} + \boxed{\text{C}} \Rightarrow \boxed{\text{cLEAR}} + \boxed{1}$

B, $\boxed{\text{HOLD}} + \boxed{2} \Rightarrow \boxed{2\ 123}$ の機能の設定を、すべて、解除する。

$\boxed{\text{HOLD}} + \boxed{\text{C}} \Rightarrow \boxed{\text{cLEAR}} + \boxed{2}$

C, $\boxed{\text{HOLD}} + \boxed{3} \Rightarrow \boxed{3\ 1234}$ の機能の設定を、すべて、解除する。

$\boxed{\text{HOLD}} + \boxed{\text{C}} \Rightarrow \boxed{\text{cLEAR}} + \boxed{3}$

D, $\boxed{\text{HOLD}} + \boxed{4} \Rightarrow \boxed{4\ 1234}$ の機能の設定を、すべて、解除する。

$\boxed{\text{HOLD}} + \boxed{\text{C}} \Rightarrow \boxed{\text{cLEAR}} + \boxed{4}$

E, $\boxed{\text{HOLD}} \Rightarrow \boxed{\text{F56789}}$ の機能の設定を、すべて、解除する。

$\boxed{\text{HOLD}} + \boxed{1} \Rightarrow \boxed{1\ 1234}$ の機能の設定を、すべて、解除する。

$\boxed{\text{HOLD}} + \boxed{2} \Rightarrow \boxed{2\ 123}$ の機能の設定を、すべて、解除する。

$\boxed{\text{HOLD}} + \boxed{3} \Rightarrow \boxed{3\ 1234}$ の機能の設定を、すべて、解除する。

$\boxed{\text{HOLD}} + \boxed{4} \Rightarrow \boxed{4\ 1234}$ の機能の設定を、すべて、解除する。

$\boxed{\text{HOLD}} + \boxed{\text{C}} \Rightarrow \boxed{\text{cLEAR}} + \boxed{\text{C}}$

◎ CHについて

キー操作によるCH設定の場合は、01CH～158CHまで可能です。
(モニタースキャンの場合は、02CH～158CHまでです。)

モード5, 6, 7, 8, 9は、極度に周波数が離れているため、無線機本体の性能により、送信できない場合があります。また、送信していても、安定した電波であるかは不明です。

このため、この周波数帯での送信は、極力行なわないでください。終段パワーモジュールの故障の原因ともなります。

◎ CHの切り替え

CHの切り替えは、**1**、**3**、**4**、**6**のキーで瞬時に切り替えられます。

操作は、リセット中、モニター、レディ、送信中、いずれからでも可能です。

◎ モードの切り替え

モードの切り替えは、**2**または、**5**のキーを使用して瞬時に切り替えられます。

操作は、リセット中、モニター、レディ、送信中、いずれからでも可能です。

モード 0	ノーマルモード	903～905MHz	ノーマル
1	ダウンモード	901～903MHz	現在割当なし
2	ダブルダウンモード	899～901MHz	
3	トリプルダウンモード	897～899MHz	
4	4プライベートモード	895～897MHz	
5	5プライベートモード	893～895MHz	
6	6プライベートモード	891～893MHz	自動車電話がぼちぼち使用中
7	7プライベートモード	889～891MHz	
8	8プライベートモード	887～889MHz	
9	9プライベートモード	885～887MHz	

ノーマルモード以外は、本来のパーソナル無線用に割当てられた周波数帯域ではありません。
使用される方は、充分自覚をもって運用してください。

モード4, 5, 6, 7, 8, 9は、通常の周波数帯域より大変離れているため、本機の性能により送信できない可能性があります。送信できても不安定電波の可能性が大です。
極力使用しないでください。

◎ 最近の900MHz帯の様子

パーソナル無線も、もう、7年の歴史がありますが、最近になって特に、OFFバンドに対する取り締まりが強化されてきているようです。驚くことは、この99.99 スーパーターボのバンドの状態、6, 7, 8, 9モードあたりで自動車電話が入感してくる事です。自動車電話は、もっと下の周波数から割り当てがあるはずですので、このあたりの周波数まで使用していると、相当の加入者数になっているものと思われます。うらをかえせば、それだけお金をかけて電波を使用している局が多くなってきているということです。

また、アップモードにあたる、MCA局の加入数も、相当伸びているようです。

このため、多大の費用をつかって運用している局が多くなるため、特に、パーソナル無線の、OFFバンドに対する取り締まりが厳しくなっています。なにしろ、パーソナルは、彼等にとっては、ただの遊びですから。

あえて、OFFバンドは、送信禁止状態にはしません。いつでも電波は出る、その時になって出ないのでは話にならないとおもいます。ただ、どこで使うかだと思います。

各自十分自覚をもって、この99.99 スーパーターボを運用してください。

取り締まりなどには、十分注意しましょう。

◎ 特殊オプション群番号

新モードの機種には、新たに、A, b, H, L, P, Eなどを頭文字にした特殊群番号がもうけられていますが、実際には、そのような文字のコードの信号が出ている訳ではなく、すべて、数字の“0”から、アルファベットの“F”までのコードで送られています。

FF000	=>	E-cod
F0000	=>	P-cod
F0003	=>	H-cod
F0005	=>	L-cod
F0006	=>	R-cod
F0009	=>	b-cod

このような構成になっています。
規則性とは、先頭が“F”であること、
E-codを除いて、中が“000”であること
のようですが、まだ空きがあります。

そこで、本機では、勝手に空きのコードにコードネームをつけてしまいました。

F0001	=>	n-cod	(Nコード)	----
F0002	=>	y-cod	(Yコード)	----
F0004	=>	r-cod	(Rコード)	----
F0007	=>	t-cod	(Tコード)	----
F0008	=>	g-cod	(Gコード)	----
F000A	=>	u-cod	(Uコード)	----
F000B	=>	-cod	(コード)	----
F000C	=>	c-cod	(Cコード)	----
F000D	=>	d-cod	(Dコード)	----
F000E	=>	f-cod	(Fコード)	----

↑各自で好きなコード名をつけてください。↑

これらの群番号は、あらかじめメモリーにある訳ではなく、そのコードに該当する群番号を打ち込むと、上記のように表示されるものです。

入力例

M + 1 + C + SHIFT + 6 + SHIFT + 0 + 0 + 0 + 8 ===
=> iG-cod

M + 2 + C + SHIFT + 6 + SHIFT + 0 + 0 + SHIFT + 1 ===
=> aU-cod

末尾に該当する部分に、0～Fの文字にあたるキーを押せば、上記に記してあるコードが表示されるはずです。
特に、y-codなど、どんな通信目的に使用されるかは、推して知るべし。

大いに利用してください。また、他の機種では当然表示されませんので、あまり意地をはらないように、

◎ リザーブメモリーについて

- リザーブメモリーは、群番, CH, モードをワンタッチで、記憶できる便利な機能です。
- リザーブメモリーは、留守番メモリーとして使用できます。
- リザーブできる数は、4個までです。
- リザーブメモリーは、待ち受けの設定はできません。

◎ リザーブメモリの仕組み

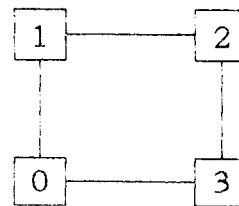
リザーブメモリには、0～3までのナンバーがついています。
 リザーブは、一つ進めるごとに、0→1→2→3→0→1のように循環します。
 また、一つ戻すごとに、0→3→2→1→0→3のように循環します。

7 のキーで、出入できるリザーブを一つ戻します。 ↑

0 のキーで、使用中の群番、CH、モードを記憶します。 →

8 のキーで、設定された群番、CH、モードを呼び出します。 ←

9 のキーで、出入できるリザーブを一つ進めます。 ↓



リザーブ関係の操作を行なった場合、 c = 0 = c の表示がされます。

これは、現在、中央に表示されたナンバーのリザーブに入出力可能という意味です。

◎ リザーブに記憶させる

普通の状態、7 または、9 のキーを押して、記憶したいリザーブNo. にあわせませす。

リザーブNo.、群番号が表示された後で、0 のキーを押すと、現在使用されている群番号、CH、モードが記憶されます。

◎ リザーブを呼び出す

普通の状態、7 または、9 のキーを押して、呼び出したいリザーブNo. にあわせませす。

リザーブNo.、群番号が表示された後で、自動的に3秒後に、記憶されていたCH、モードでモニター状態に移ります。また、PTTを押すと、記憶されていた群番号になります。

通話が終って、リセットしますと、リザーブを呼び出す前の群番号にもどります。

リザーブを呼び出しても、0～9のメモリは壊されることはありません。

又 8 のキーを押す事によって、どのCHモードにいても指定したリザーブメモリに移ります。

◎ 留守番機能について

○ 留守中、呼び出しを受けた群番号、CH、モードを記憶する機能です。

○ 留守番メモリとして、リザーブメモリを使用します。

○ 留守番メモリは、個別にメモリープロテクトがかけられます。
 メモリープロテクトがかけられた留守番メモリには、記憶されません。

○ 留守番機能を設定します。

HOLD + 2 + 3 => a 3

壊したくない留守番メモリに、メモリープロテクトをかけます。

HOLD + 2 + 4 => P

続いて、0 から 3 のキーを押すと、プロテクトの設定、解除ができます。

- 留守番機能を設定し、リセットすると、他局から呼び出されても応答しない場合、30秒経つと、呼び出された群番号、CH、モードを留守番メモリーに、記憶して、リセット状態にもどります。
- 留守番記憶が行なわれた場合、**C**ランプが点滅し、7 または、9 のキーを押された時、リザーブNo. に続いて表示される群番号の左端に r が表示されます。
- 留守番メモリーが満杯になると、以後は記憶されません。メモリープロテクトがかけられたり、留守番記憶がされたメモリーは、記憶されません。
- 留守番記憶のクリアは、一度、留守番機能が解除された後、再度、留守番機能が設定された時、自動的に行なわれます。**C**ランプが消灯します。

○ 各状態によるマイクのキーの機能

マイクのREMOTE、SHIFT、ENDの機能は、無線機の状態により、変わります。

REMOTEキー

リセット	—————	固定モニターへ
固定モニター中	—————	+1CH
モニタースキャン中	—————	+1モード
スキャン一時停止中	—————	固定モニターへ
モニター群一致中	—————	固定モニターへ
レディ	—————	連続リコール
HOLD機能中	—————	死んだふり

SHIFTキー

リセット	—————	群番号メモリー及び特定群番号呼び出し
固定モニター中	—————	-1CH
モニタースキャン中	—————	-1モード
スキャン一時停止中	—————	モニタースキャンへ
レディ	—————	送信出力、受信感度の変更

ENDキー

固定モニター中	—————	リセット
モニタースキャン中	—————	タイマー動作時、スキャン一時停止へ タイマーカット時、固定モニターへ
スキャン一時停止中	—————	リセット
モニター群一致中	—————	リセット
レディ	—————	連続リコール
HOLD機能中	—————	HOLD機能から抜ける


* 新モードについて *

80/
158

CHの配列は、以下のようになっています。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80
	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117	118	119	120	121	122	123	124	125	126	127	128	129	130	131	132	133	134	135	136	137	138	139	140	141	142	143	144	145	146	147	148	149	150	151	152	153	154	155	156	157	158	

◎ 表示ランプについて

ランプ	意味
待ち受けランプ	群番号メモリー及び特定群番号の待ち受け設定、解除を表す。
	消灯 点灯 遅い点滅 早い点滅
1	解除 1の設定 — —
2	解除 2の設定 — —
3	解除 3の設定 — —
A	解除 4の設定 Aの設定 4とAの設定
b	解除 5の設定 bの設定 5とbの設定
L	解除 6の設定 Lの設定 6とLの設定
H	解除 7の設定 Hの設定 7とHの設定
P	解除 8の設定 Pの設定 8とPの設定
E	解除 9の設定 Eの設定 9とEの設定
T-LIM	消灯 タイマーカット中 点灯 タイマー動作中
80CH	点灯 80CHモード
LOCAL	点灯 ローカルモード
1MIN	点灯 1分通話モード
C-MEMO	消灯 群番号待ち受け 点灯 免許番号待ち受け
SIGNAL	点滅 全モード待ち受け
	点滅 留守番機能設定時、留守番記憶がされた。
MON	点灯 固定モニターまたはモニター群一致中 点滅 モニタースキャン中またはスキャン一時停止中

◎ モニター状態について

- モニタースキャン中は、
タイマーカット中の場合、入感あり、または、いずれかのキーを押すと、固定モニターへ移る。
タイマー動作中の場合、入感あり、または、いずれかのキーを押すと、スキャン一時停止へ移る。
- 自動モニター中は、
スキャン一時停止に30秒間いて、続いて、次のCHに移る。
全てのCHメモリーに記憶されているCHをスキャンしたら、待ち受け状態になる。
また、スキャン一時停止中に、REMOTE、SHIFT、MONキーを押すと、
固定モニターに移り、自動モニターは終了する。

~~~~~ M E ~~~~~